

みずほCustomer Desk Report 2020/09/14号 (As of 2020/09/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.16
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.15	1.1824	125.54	1.2811	0.7262
SYD-NY High	106.26	1.1874	126.09	1.2866	0.7306
SYD-NY Low	106.06	1.1819	125.49	1.2763	0.7254
NY 5:00 PM	106.16	1.1846	125.76	1.2794	0.7288
NY DOW	27,665.64	131.06	日本2年債	-0.124	▲0.50bp
NASDAQ	10,853.54	▲66.05	日本10年債	0.027	0.70bp
S&P	3,340.97	1.78	米国2年債	0.127	▲1.10bp
日経平均	23,406.49	171.02	米国5年債	0.252	▲1.60bp
TOPIX	1,636.64	11.78	米国10年債	0.666	▲1.50bp
シカゴ日経先物	23,190.00	255.00	独10年債	-0.4810	▲5.35bp
ロンドンFT	6,032.09	28.77	英10年債	0.1820	▲4.50bp
DAX	13,202.84	▲6.05	豪10年債	0.9115	▲2.25bp
ハンセン指数	24,503.31	189.77	USDJPY 1M Vol	5.71	▲0.19%
上海総合	3,260.35	25.52	USDJPY 3M Vol	8.13	▲0.10%
NY金	1,947.90	▲16.40	USDJPY 6M Vol	7.71	▲0.04%
WTI	37.33	0.03	USDJPY 1M 25RR	-1.07	Yen Call Over
CRB指数	146.413	0.24	EURJPY 3M Vol	8.28	▲0.02%
ドルインデックス	93.33	▲0.00	EURJPY 6M Vol	8.15	▲0.06%

【昨日の指標等】

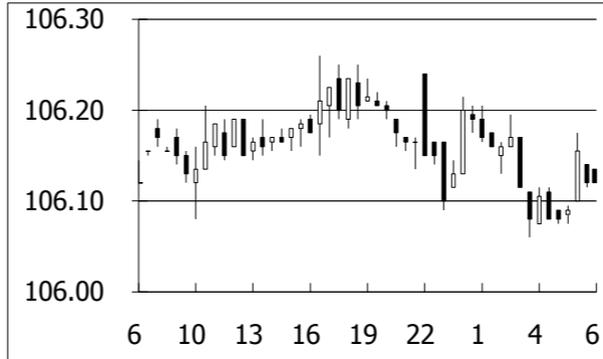
Date	Time	Event	結果	予想
9月11日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 5.2%/-7.8%	4.1%/-8.7%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	7月 6.3%/-9.4%	5.0%/-10.5%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	8月 -0.1%/0.0%	-0.1%/0.0%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	8月 0.4%/1.3%	0.3%/1.2%

【本日の予定】

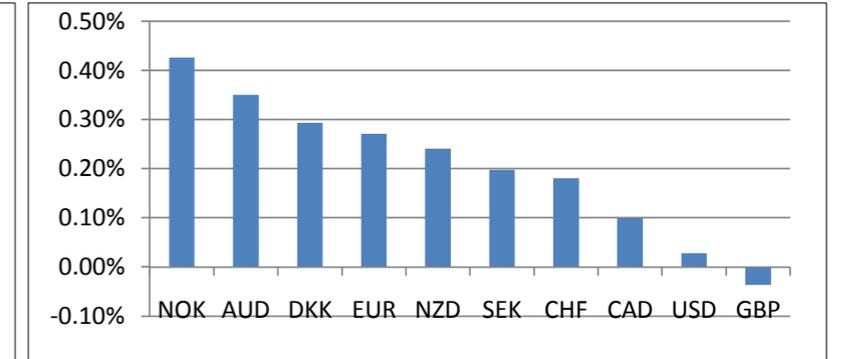
Date	Time	Event	予想	前回
9月14日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	7月 -	8.0%/-16.1%
	14:00	日 自民党総裁選	-	-
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 4.2%/-8.1%	9.1%/-12.3%

東京	東京時間のドル円は106.15レベルでオープン。オセアニア通貨を中心にドル売りが見られたが、ドル円は高値106.20、安値106.08と狭いレンジで方向感なく推移し、106.19レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は動意薄であった。106.19レベルでオープン。新規材料難から11銭の小幅な動きとなり106.17レベルでニューヨークへ渡った。ポンドは下落した。1.2811レベルでオープン。7月の英国GDPは前月比+6.6(予想+6.7%、前回+8.7%)、7月鉱工業生産指数は前月比+5.2%(予想+4.1%、前回+9.3%)と新型コロナウイルス関連規制緩和が寄与し拡大傾向が続いた。これらを受けポンドは1.2866まで買われた。しかし、その後は英国のEU離脱を巡る混迷が重しとなり約1か月半ぶりの安値1.2763を付け1.2826レベルにてニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は106.08-26での狭いレンジでの推移が続き、106.17レベルでNYオープン。朝方は米8月CPIが予想を上回ったことからドル買いが持ち込まれ、106.24まで戻すが、戻り売りに106.09まで反落する。その後ロンドンフィックスに掛けて106.21まで戻す局面もあったものの、午後に入り堅調に推移していたダウがマイナス圏へ下落する展開に、円買いが強まり106.06まで反落する。終盤に掛けては週末を控え、狭いレンジでの推移が続き、106.16レベルでクローズした。一方、海外市場でEUがノー・ディール・ブレグジットに向けてもっと準備をしているとの報道が伝わるが、その後はユーロ買い、ドル売りが優勢となり、1.1874まで戻し、1.1851レベルでNYオープン。朝方は、米CPI結果を受けたドル買いに1.1835まで反落する。その後1.1857まで戻す局面もあったものの、米株式市場が徐々に軟化する動きを受け、ユーロ売りが優勢となり、1.1827まで反落する。終盤に掛けては、週末を控え狭いレンジでの推移が続き、1.1846レベルでクローズした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-106.50	1.1800-1.1880	125.40-126.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は、106円台前半でオープン。アジア時間については、特段新たな材料に乏しい中で、同水準でのみ合い推移が継続した。海外時間に入り、米8月CPIが市場予想を上回る結果となったことで、一時的に上昇する展開も垣間見えたものの、上昇基調が続く勢いに乏しく、週末を控えて株式動向を睨みながら小幅な値動きに終始、結局106円台前半でのクローズとなった。
本日のドル円は、動意に乏しい値動きを予想。週中にFOMCを控える中で、イベント待ちの様相を呈しダイレクションの出難い相場展開を想定する。先週は、ノー・ディール・ブレグジットに関連するHLが散見され、米大統領選挙を年後半に控える中であるが、欧州発のイベントリスクにおいても相場の混乱要因として視野に入れておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 綿引・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村	
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	
										ブル
										ベア
										6
										15